

こと座・わし座

夏の夜空で見上げる「夏の大三角」のうち、二つの頂点を形作るのが「こと座」と「わし座」です。これらの星座にある星は、日本では七夕の「織女星（織姫）」と「牽牛星（彦星）」として古くから親しまれてきました。

こと座には、音楽の名手オルフェウスの悲しい神話が伝わっています。彼が亡き妻を慕って奏でた美しい竖琴は、彼の死後、大神ゼウスによって星空にあげられ「こと座」となりました。一等星ベガのそばには、双眼鏡で二重星、望遠鏡で覗くと二重星がさらに分かれて見える「ダブル・ダブルスター」があります。また、太陽くらいの重さの星の比較的小さな姿で、太陽の将来像ともいわれるガスが丸く広がった「環状星雲M57」も望遠鏡で見ることができます。

一方、わし座で輝く「アルタイル」は、天の川を挟んで「ベガ」と対をなすように輝く一等星です。ギリシャ神話に登場するこの鷲は、ゼウスの身边を離れず、雷電の矢をたずさえている大きな黒鷲とされています。別の神話では、ゼウスが宮殿の酒宴でお酌をさせるため、美少年ガニメデスをさらったときに変身した姿ともいわれています。かつての古星図には、鷲が少年をさらう姿が描かれていました。

並んで昇る二つの星座を、切ない神話や特徴的な天体、そして古星図に広がる物語に思いを馳せながら楽しみましょう。

参考図書：全天星座百科（藤井旭著 / 河出書房新社）



今月の見どころ星どころ ペルセウス座流星群

文・浜松市天文台
村松 大河

8月の夜空を彩る最大のイベントといえば「ペルセウス座流星群」です。毎年多くの流星が現れますが、今年は流星群の活動がピークを迎える時期がちょうど新月（月明かりが全くない時期）にあたるため夜空が暗く、最高の条件が整っています。

この流れ星の正体は、宇宙に浮かぶ「チリ」や小石のようなものです。大きさは0.1mm以下のものもあれば、数cmのものまで様々です。このチリは、彗星が宇宙空間に置き去りにしたものです。

毎年決まった時期に多くの流星が現れるのは、地球が太陽の周りを回る中で、このチリが濃く集まった空間を毎年同じタイミングで突き切るためです。つまり流星群とは、地球という宇宙船が、彗星の軌道と立体交差する瞬間に起こるダイナミックな現象なのです。チリの粒が地球の大気に猛スピードで衝突し、大気が激しく光ることで、私たちは一瞬の光の筋を目にしています。

最高の条件が揃う今年の夏は、街明かりを避けて夜空を広く見渡してみてください。浜松市天文台でもペルセウス座流星群観望会を企画しています。会場は、鳳場公園（中央区白羽町）です。詳細は天文台ウェブサイトをご覧ください。

参考図書：星のきほん（駒井仁南子著 / 誠文堂新光社）



2026年8月13日 午前3時頃

黄色の十字が放射点。放射点が真くなる夜明け前がおすすめです。
流星は放射点の周囲だけではなく、放射点を中心として空全体に出現します。
画像の流星はイメージです。この通りに出現するわけではありません。

星空クイズ

夏の大三角の星の中で、地球から約1400光年も離れている（他の2つより圧倒的に遠い）星はどれ？

- A ベガ
- B アルタイル
- C デネブ

答えは中面へ

星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

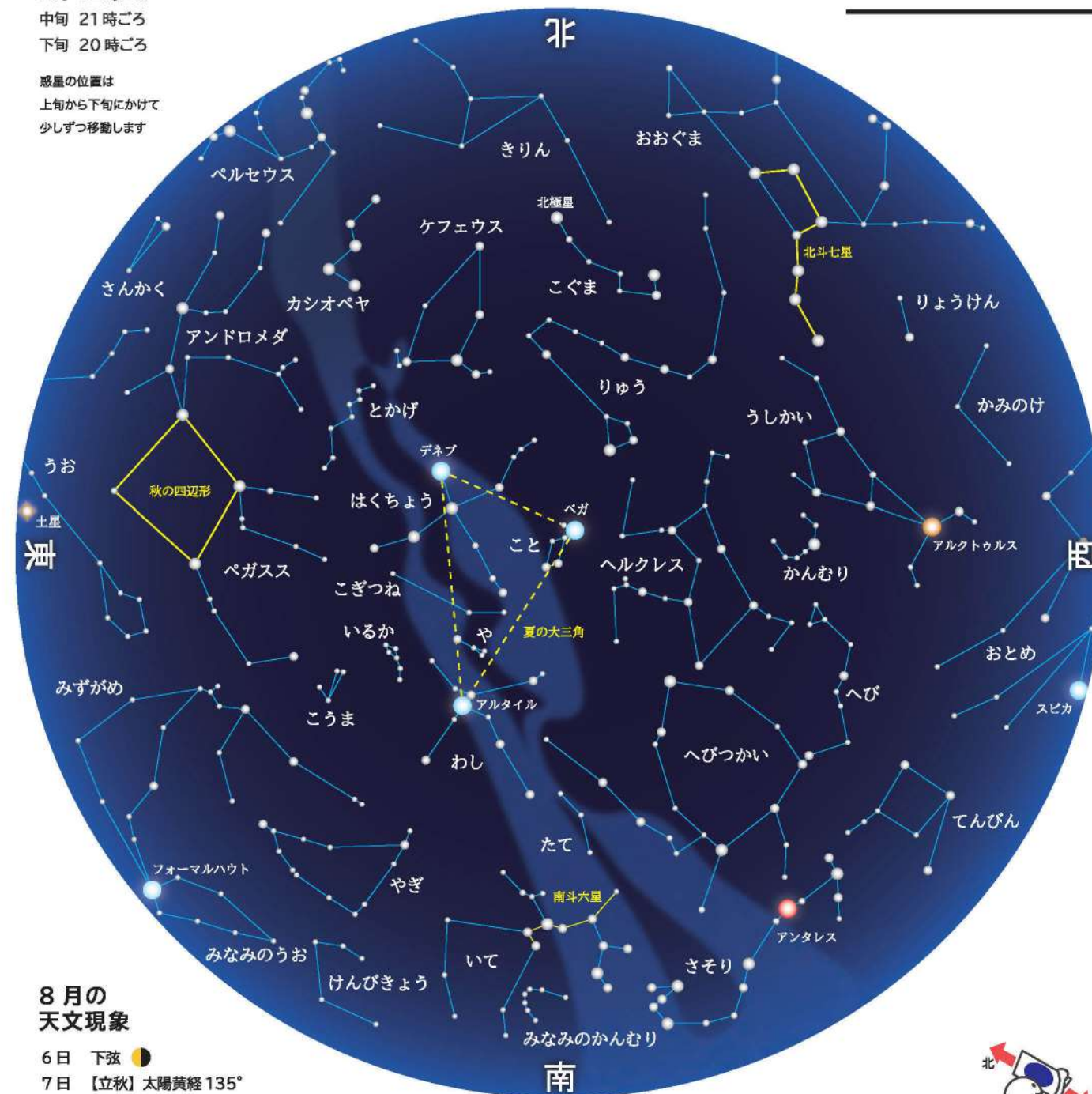
2026年8月

上旬 22時ごろ

中旬 21時ごろ

下旬 20時ごろ

惑星の位置は
上旬から下旬にかけて
少しずつ移動します



8月の天文現象

- 6日 下弦
- 7日 【立秋】 太陽黄経 135°
- 13日 新月 ● ペルセウス座流星群が極大（11時）
- 15日 金星が東方最大離角
- 19日 伝統的七夕
- 20日 上弦
- 23日 【処暑】 太陽黄経 150°
- 28日 満月

夏休み真っ盛りの8月は、ちょっぴり夜更かししても大丈夫な特別な季節ですね。今月は、夜空を横切るたくさんの流れ星に出会える「ペルセウス座流星群」が見頃を迎えます。さらに、8月は昔ながらの「伝統的な七夕（旧七夕）」を迎える時期でもあります。夏の思い出に、みんなでじっくり夜空を眺めてみませんか？



上の星図は、空にかざして
実際の方角と合わせてご覧ください。





浜松市天文台

イベント情報

天文台ウェブサイトよりお申込みください。

OK 天候不良開催 NG 天候不良中止

ウェブサイトはこちら



8/1・15・22・29

星空観望会 宇宙へのとびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望します。

時間 19:30～21:00 会場 天文台屋上

申し込み 開催日3日前の水曜 13時から受付 (30分ごと先着20組)



8/1 めざせ!望遠鏡マスターコース

基本の操作技術を習得できます。星空観望会でも練習を重ねて、自分の力で星を見つけましょう。

時間 18:30～19:30 会場 2F 観望室

申し込み 7/29 (水) 13時から受付 対象 小中学生 (先着6人)



8/2 「光の科学」スペクトル講座

分光器を作って「光」を知る講座です。「太陽・星間の星観望会」も同時に開催しています。

時間 13:00～14:30 会場 2F 観望室/天文台屋上

申し込み 7/22 (水) 13時から受付 対象 小学5年生以上 (先着10組)



8/2 太陽・星間の星 観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、星間に見える天体を観望します。

時間 14:00～16:00 会場 天文台屋上

申し込み 予約の必要はありません。直接天文台にお越しください。



8/7・14 親子天文教室

小学生親子向けのお話と観望がセットになっています。(園児のさようだいも参加可) 雨天でも工作を楽しめます。

時間 19:00～20:30 会場 1F ホール/天文台屋上

申し込み 7/22 (水) 13時から受付 (両日とも先着20組)



8/8 スターウィーク星空観望会

石人の星公園で観望会を行います。

時間 19:30～21:00 会場 石人の星公園

申し込み 予約の必要はありません。直接会場へお越しください。



8/9 星と景色の写真講座～一眼レフの撮り方教室～

三脚と一眼レフカメラで、星の写った風景写真を撮影するための入門講座です。設定から、丁寧に解説します。

時間 19:00～21:30 会場 2F 観望室/天文台屋上

申し込み 7/29 (水) 13時から受付 (先着6組)



8/12 ペルセウス座流星群観望会

広い観望でのんびりと流星群を楽しみます。

時間 21:00～23:00 会場 県立公園

申し込み 予約の必要はありません。直接会場へお越しください。



8/13 望遠鏡を作る

望遠鏡キットを使って、自分の望遠鏡を作り、月や星などを見てみましょう。

時間 19:00～21:00 会場 2F 観望室/天文台屋上

対象 小学生親子 材料費 3300円

申し込み 7/22 (水) 13時から受付 (1時間ごと先着7組)



8/15 スマホ de 星空写真～スマホで星空写真を撮ろう～

スマホのナイトモードや夜景モード等を使って、きれいな星空の写真を撮影しましょう。

時間 18:30～19:30 会場 2F 観望室

申し込み 8/5 (水) 13時から受付 (先着10組)



8/16 ソムリエ観望会～伝統的七夕～

星空案内のガイドツアー付き観望会です。星のソムリエがご案内します。

時間 19:00～21:00 会場 天文台屋上

申し込み 8/5 (水) 13時から受付 (1時間ごと先着9組)



8/23 はじめての双眼鏡講座～双眼鏡で星空ウォーク～

小学生の親子でも分かるように、優しく解説する初心者向けの内容です。

時間 19:30～20:30 会場 2F 観望室/天文台屋上

申し込み 8/12 (水) 13時から受付 (先着10組)



8/29 天文ミニ講座～今夜の星空がもっと楽しくなる～

星座と今夜の星の見どころについて、星空案内人がお話します。星空観望会で、星空を見るのがより楽しめます。

時間 18:30～19:20 会場 2F 観望室

申し込み 8/26 (水) 13時から受付 (先着10組)



裏面のクイズの答え：正解は、C (デネブは非常に遠いところにありますが、星自体が巨大で明るいため、1等星として輝いています)



浜松科学館

プラネタリウム番組情報

解説員がライブ解説する「プラネタリウム」をお楽しみいただけます。

ブログはこちら



※夏季：7/18～8/31

プラネタリウム	キッズプラネタリウム
2026.7.14(日)～9.18(日) 今年度はプラネタリウムで太陽系一周ツアー! 夏休み期間 7/18～8/31 13:00～13:55 15:40～16:35 夏季 13:00～13:55 15:40～16:35	2026.7.18(日)～8.31(日) 10:30～11:10 夏季 10:30～11:10
2026.8.22(土) 18:20～19:00 19:20～20:00	

星空を楽しむ こんな楽しみ方はいかがですか?

夜空に光る無数の星の物語、流行の AI と一緒に作ってみました。「むかしむかし、銀河のすみっこに、ふわふわの大きな雲がありました。水素やちりがゆっくりたどよう、しずかでやさしい宇宙のゆりかごです。ある日、その雲の中で物がぎゅっと集まり、重力の力でどんどんまとまっていきました。やがて中でぽつと火がつき、星が生まれます。生まれた星たちはとても明るく、まわりのガスを照らして雲を赤く光らせました。星たちはしばらく兄弟のように寄り添い、仲よく光りながら暮らします。でも、ずっと一緒にはいられません。長い時間がたつと、星たちは銀河の力にひかれて、それぞれの旅へ出かけていきます。やがて雲も星の集まりも見えなくなるけれど、そのときの輝きは宇宙のどこかにそっと残り続けるのです。」写真は天の川の浮かぶ干潟星雲です。赤い雲の中に一緒に生まれた星たちを観ることができます。ぜひ、浜松市天文台へ観に来てくださいな。



エルニーニョ現象 column 文/浜松科学館 天文チーム 伊藤将宏

「エルニーニョ現象」とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より高くなり、その状態が1年程度続く現象です。エルニーニョ発生条件は、平年の海面水温より、0.5℃以上高くなった状態が維持されることです。0.5℃という、わずかな差のように感じますが、空気と通い水は熱を蓄える量が多いため、周囲に与える影響は長く大きくなります。

エルニーニョが発生する原因は「貿易風」と言われています。貿易風は低緯度帯で常に東から西に向かって吹く風です。これは、地球の自転に対して上空の空気が追いつかず、置き去りにされた空気が、地上に居る私たち常に常にながっているようなものです。太平洋では、貿易風によって水面の暖かい海水が西に流れ、インドネシアやオセアニアの海域に溜まります。一方、南米側の海底からは冷たい海水が上がり、海面温度は西域に比べて低いです。しかし、何らかの原因で、貿易風が弱くなることがあります(貿易風が弱くなる原因はよく分かっていません)。すると、暖かい海水が、南米側まで広がります。それに伴い、異常気象や不漁が引き起こされるのです。もともと、ペルー北部の漁民が、毎年12月頃に観られる海面水温の上昇のことを「エルニーニョ」と呼んでいました。エルニーニョは「幼子イエス・キリスト」を指しています。この言葉が、次第に数年に一度起こるペルー沖の高水温現象の意味で使われるようになりました。

そして今年はエルニーニョ現象が発生しています。エルニーニョの時、日本では、冷夏や暖冬傾向にあります。しかしながら、地球温暖化により普段の気温が底上げされています。この夏の天候は新たな局面を迎えているのかもしれない。

参考・引用
・気象庁エルニーニョ/ラニーニャ現象に関する知識
・ファン!ファン!JAXA エル・ニーニョの意味、原因、影響などについて教えてください